

市長によるオーガニックビレッジ宣言の実施

◆アピールポイント	<p>・「オーガニックビレッジ」とは有機農業の生産から消費まで一貫し、地域ぐるみで取組を進める市町村のことです。</p> <p>・この度有機農業の推進に向けた姿勢を内外に示し、共感を得ていくため「オーガニックビレッジ宣言」を「グリーン農業フォーラム」内で行います。</p> <p>・「オーガニックビレッジ宣言」とあわせて、長野県松川町宮島公香氏と(株)TOWINGの阿部浩人氏による講演を実施します。</p> <p style="text-align: right;">【市長の出席 有】</p>
◆内容など	<p>令和6年度第2回グリーン農業フォーラム</p> <p>○日時 令和7年3月4日(火) 13時から15時</p> <p>○場所 静岡県教育会館4階 大会議室(静岡市葵区駿府町1-12)</p> <p>○対象者 どなたでも参加いただけます</p> <p>○当日の流れ</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">13時～13時30分</p> <p>市長による挨拶及びオーガニックビレッジ宣言</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">13時30分～14時00分</p> <p>講師：長野県松川町産業観光課 ^{みやじま}宮島 ^{きみか}公香氏</p> <p>テーマ：松川町における環境保全型農業と学校給食の取組について</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">14時00分～14時30分</p> <p>講師：^{トウイング}(株)TOWING 西日本事業開発リーダー ^{あべ}阿部 ^{ひろと}浩人氏</p> <p>テーマ：高機能バイオ炭^{そらたん}”宙炭”を中心とした持続可能な農業について</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">14時30分～15時00分</p> <p>静岡市有機農業実施計画(静岡市の有機農業の方針・取組)について説明及び意見交換</p>
◆その他	<p>会場の都合がありますので取材いただける場合は事前に農業政策課までご連絡ください。</p>

別紙資料 有 ・ 無

ぜひ取材をお願いします。

【問合せ】 農業政策課 (清水庁舎6階)
 担当 八木、宮永
 電話 054-354-2091

参加無料！

どなたでも参加可能！



静岡市
オーガニック
ビレッジ

静岡市 グリーン農業 フォーラム 開催

2025. 3/4(火)

13:00 ~ 15:00

開場12:30

静岡県教育会館 4階 大会議室
(静岡市葵区駿府町1-12)

静岡市は有機農業を推進し、循環型農業の実現を目指していきます。静岡市だけではなく皆様とともに有機農業を推進していくための「グリーン農業フォーラム」を開催します。

市長による「オーガニックビレッジ宣言」のほか、有機農業に関する講演を実施します。

プログラム

(1) 挨拶及びオーガニックビレッジ宣言：静岡市長 難波 喬司

(2) 講演 ※松川町はWEB接続での講演となります

テーマ

松川町における環境保全型農業
と学校給食の取組について



長野県松川町役場

長野県南部に位置し、果樹栽培が盛ん。遊休農地増加の対策として「1人1坪農園」の取組を開始し、これらをきっかけに学校給食を軸とした「ゆうきの里」づくりを進めている。環境保全型農業での野菜産地をゼロから作り上げた事例として、注目を集めている。

講師：産業観光課農業振興係長 宮島 公香氏

テーマ

高機能バイオ炭^{そらたん}“宙炭”を中心とした
持続可能な農業について



(株)TOWING

名古屋大学発のスタートアップとして発足。植物の炭等のバイオ炭（多孔体）に微生物を付加し、有機質肥料を混ぜ合わせて管理した人工土壌の技術「高機能ソイル技術」を活用した、高機能バイオ炭「宙炭（そらたん）」を開発・販売。通常畑で3～5年かかる土づくりをわずか約1か月で可能にする。

講師：西日本事業開発リーダー 阿部 浩人氏

(3) 意見交換会

お申込み

右記二次元コードから
※切：3月3日（月）正午
定員：100名（先着順）



お問い合わせ

静岡市 経済局農林水産部 農業政策課

TEL：054-354-2091

MAIL：nougyouseisaku@city.shizuoka.lg.jp

アクセス

新静岡駅から徒歩 2分



※公共交通機関でお越しください